

資料2

福島県立医科大学 看護学部長

中山 洋子 先生

看護学基礎教育のあり方

2008. 5. 26

福島県立医科大学看護学部
中山 洋子

看護学教育におけるパラダイムの転換
(1967年のカリキュラム改正)

- Knowing-how as Training
- Knowing-that as Education

看護学教育におけるパラダイムの転換 (1990年代の動向)

- 健康障害(病気)をもつ人の看護
(疾病を中心にした看護)
- その人の健康を守る看護
(健康を中心とした看護)

なぜ、専門性の高い看護職が
必要になってきたのか

- 疾病構造の変化
- 人口の高齢化
- 医療費の増加
- 健康に対する考え方の変化

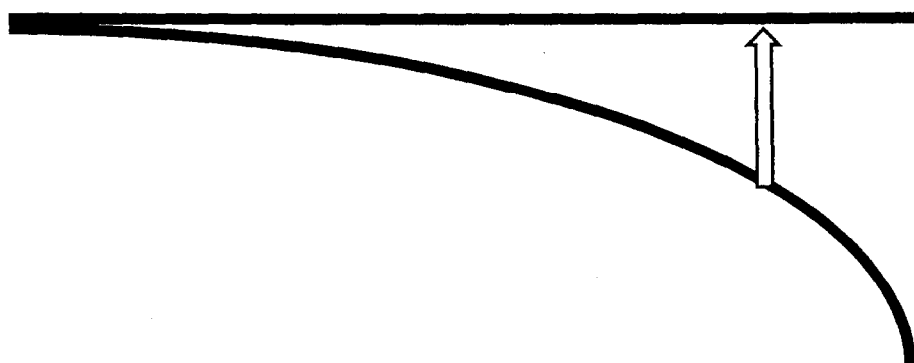
Cure から Careへ

ヘルスプロモーション



健康の増進

ヘルスプロモーション



健康の維持

科学的な思考

倫理的な判断力

創造性

看護専門職に求められる能力

知識・技術

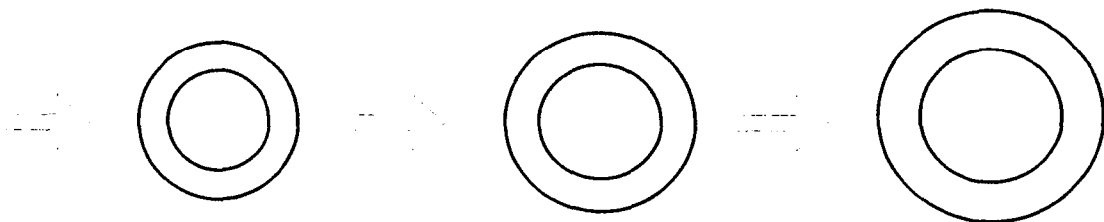
知識・技術を使う能力

知識・技術を使うときの
看護専門職としての倫理

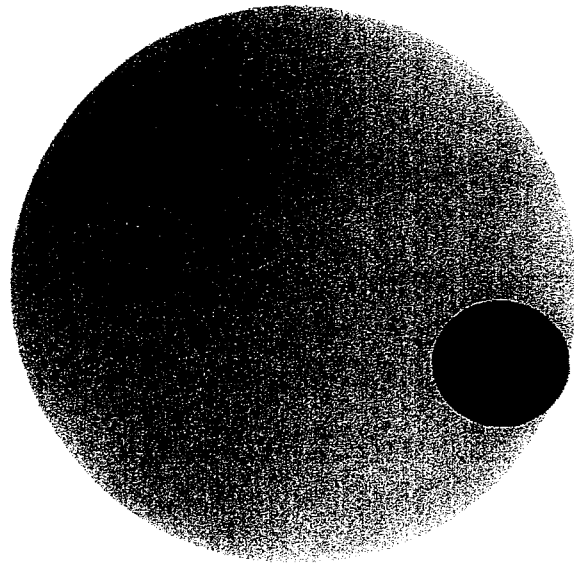
知識・技術の活用を通して育む
看護実践能力

- 先見力
- 判断力
- 臨機応変さ

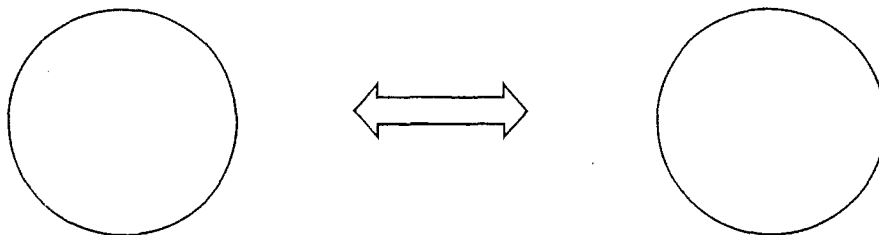
1. 先を見通す : 過去から現在、未来へと
現象の変化を見通す能力



2. 状況を読む：全体と部分の関係を理解する能力



3. コミュニケーション：相互作用のなかで
学びとっていく能力
(臨機応変)



看護実践能力を育成するための 教育方法

- 能動的学習

<話すこと聞くこと> <書くこと>

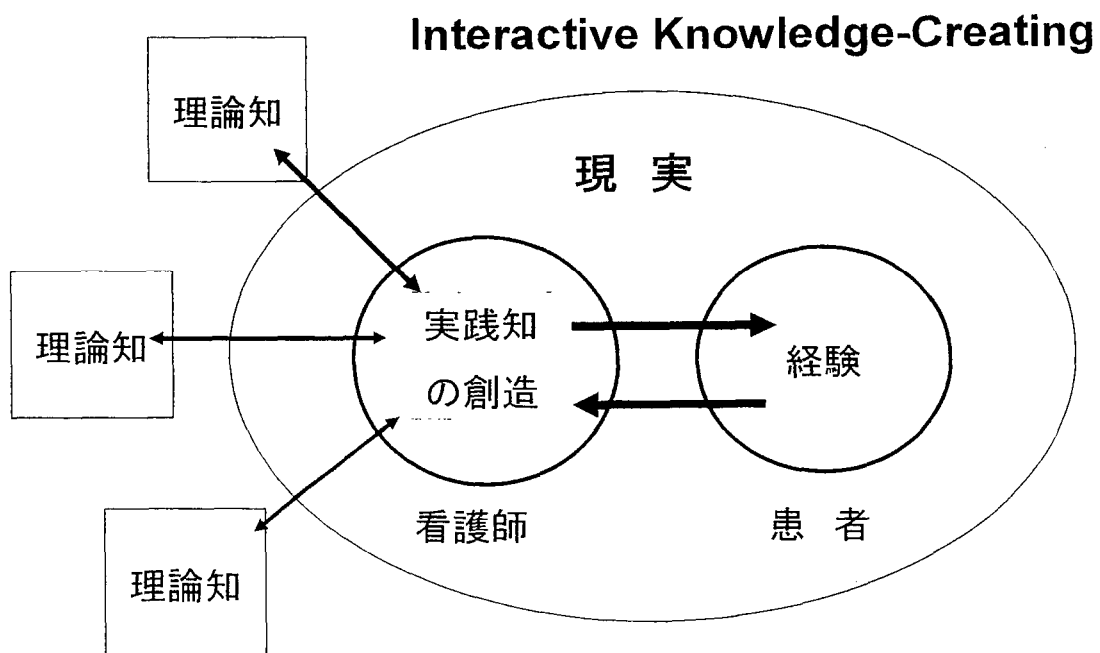
<読むこと> <熟考すること>

- 直接的経験の重要性

臨床対話 (clinical conversation)

学んだ知識と自分自身の経験とを関連づける

経験を知に変換する「知識創造」



看護学教育におけるパラダイムの転換

(教育方法の切り替え)

- 知識の詰め込み型教育
- 知識の活用方法を学ぶ教育

実現のためには教員の教育力が課題

指定のカリキュラムの最小化

97単位 → 60単位

看護学校・大学独自のカリキュラムを作成

看護教員の専門性・創造性の発揮

魅力ある看護教育

20年後に向けての課題

規格外の看護専門職の育成

学際的な保健医療チームの中で
看護職が生き残るために

高い専門性

高い創造性

看護専門職の分化

| | |
|-----|---------------|
| 一人前 | Administrator |
| | Specialist |
| | Generalist |

看護専門職の役割

